本所議員・沖縄を視察

旅程を顧みて　日野晴郎

ひめゆりの塔前の記念撮影

当所議員会主催による沖縄経済視察団（団長小松重沖縄ホテル社長）一行三十九人（内議員四名）一泊四日の全日程を終え、十二月五日定期十時四分五分、夕陽せる函館空港に無事到着した。その視察の模様を思うままに書いてみたいと思う。

前夜来の風雨もすっかりあがり絶好の飛行日和の十二月二日、定期を三十分遅れて南館空港を出発し、十四時五十分、羽田空港で乗りつぎ、右に伊豆半島・富士山、足摺岬、種々島あり、港湾、空港を整備され、十七時二十分目的地、沖縄南部の島々を経て、黄昏の那覇国際空港に着陸。沖縄は前日が雨で、車の台数が多く、朝夕のラッシュ時には一時走るのに三十分要したのには閉口した。車は左ハンドル、右側通行。本土とは全く逆であるというのうち一行はまずはじめのうちは、タクシー料金は基本七〇円四百ごとに二十円と安いのには驚いた。

◇基地の実態を痛感

嘉手納基地は、極東最大の米軍基地、極東の軍事拠点、基地の面積は七三〇万坪、周囲二十八㌔にも及び、四千機、三千機の滑走路各々二本、車窓から七百ミリ、ファントム戦闘機、ソンファイアAの黒い巨体が見え、ファントム戦闘機、ミサイルなどが常備されている。基地内に常駐する米兵二万人、その家族二万人

熱帯植物園（名護近郊）

沖縄　観光百万人目標
函館　施設の整備要望
経済懇談会

従業員六千人（内日本人三千人）といわれ、この基地から消費される燃料は一日百万ガロン（ドラム缶一万八千本）、基地の周辺は地方弾薬庫、ミサイル発射台の附近は写真撮影禁止、沖縄は基地の島である。

万座毛は恩納村北方にあり、琉球国時代、尚敏王がロ頭巡視の折、この地に臨み「万人を座らず、この地に臨との意味から命名、切り立った珊瑚礁の上の広場で、見おろす海の色は、南国特有の澄みきったダークブルーである。

◇看板はすべて横文字

那覇から二時間余り、人口二万人の静かな強港名護（ナゴ）に着く。名護は桜の名所、一月末頃桜祭りで賑わい、四月には数百頭のイルカが湾に押し寄せるが、ここで昼食とり、午後は島の中央道を横断し太平洋岸に出、石川、金武湾の乙女百八十七柱、職員十名、基地の沖縄都二の都市人口七万のコザ市、店頭看板はすべて横文字、沖縄で、不車の上艦と共に特攻隊員三百人、この基地から、バスは一路目的地、熱帯植物園、中城城跡へ。ガロン（ドラム缶一万八千本）、基地の周辺は地方弾薬庫、ミサイル発射台の附近は写真撮影禁止、沖縄は基地の島である。

万座毛は恩納村北方にあり、琉球国時代、尚敏王が口頭巡視の折、この地に臨み「万人を座らず、この地に臨との意味から命名、切り立った珊瑚礁の上の広場で、見おろす海の色は、南国特有の澄みきったダークブルーである。

◇看板はすべて横文字

那覇から二時間余り、人口二万人の静かな強港名護（ナゴ）に着く。名護は桜の名所、一月末頃桜祭りで賑わい、四月には数百頭のイルカが湾に押し寄せるが、ここで昼食とり、午後は島の中央道を横断し太平洋岸に出、石川、金武湾の乙女百八十七柱、職員十名、基地の沖縄都二の都市人口七万のコザ市、店頭看板はすべて横文字、白人街、黒人街の区別あり、ここに沖縄南端摩文仁の丘に故後英霊を慰めるために建立された碑のうちの一つで、本道出身の多くの戦死者の霊がここにねむる。本年五月再建された。

基金をかねた団員の方の胸に去来するものは顧みて、一、沖縄は観光が主産業になろう、宿泊施設、道路、観光地の環境整備に早急に対処しなければ、海洋博の受入体制にも影響あると思う。

一、北海道からの直行便を検討し、観光客、物資の交流を図ってはどうか。

一、相互間の物産展の開催を計画してはどうか。

以上懇談の話題が奥水産の移出入、観光面に集中したきらいはあるが、「両会議所の部会活動を通じて積極的に取組むことを約し、終始、なごやかなうちにスムーズに終了した。

三泊四日の短い旅行であったが、楽しく有意義に同行させて戴き、ここにお礼申し上げます。

旅行中には団員の皆様方の意に添わない面も多々あったかとも存じますが、ご容赦のほど衷心をかりてお願い申し上げます。

（本所指導課長）

※　※　※

本所業務概要報告

昭和47年11月

事項別分類	日付	件名
常議員会	29	第12回常議員会
部会	27	理財部会
	28	小売商業部会
正・副会頭会議	11	第50回正副会頭会議
	20	第51回正副会頭会議
会議	16	日商常議員会、同委員会
	17	沖縄視察打合せ会
	20	函館商業近代化地域計画推進委員設立総会
	21	道商連政策委員会道政懇談会（札幌）
	30	商業活動調整協議会運用会議（札幌）
諸会議	1	J・C理事会、同例会
	〃2	卸センター理事会
	〃4	貨物協会函館支部幹事会
	〃7	企業内青少年指導者選任説明会
	〃8	みなみ北海道地区観光土産品公正取引協議会役員会
	〃9	観光協会企画委員会
	〃10	文協幹事会
	〃11	新成人海外派遣候補選考委員会（市民会館）
	〃13	婦人会例会
	〃14	青色婦人部会例会
	〃	家具輸出打合せ
	〃	地域開発研究会
	〃16	J・C役員会
	〃17	港まつり協賛会総会
	〃18	全国するめ加工協組臨時総会
	〃19	日本ルーマニア友好協会亀田支部設立総会（亀田市）
	〃20	警察官友の会役員会
	〃21	J・C三役会議
	〃22	青函トンネル調査材協力会役員会
	〃25	青色相談員会議
	〃27	電話交換協力会（ロイヤル）
	〃28	卸センター理事会
	15	ソ連極東貿易事務所副長ウルソフ氏歓迎懇談会（国際ホテル）
	〃	J・C例会
	16	市民芸能祭打合せ（市民会館）
	18	文協役員会
	〃	流通関係施設視察研究会（日商）
	20	婦人会役員会
	22	全国土産品研究会
	24	失保説明会
	〃	税務指導協議会
	〃25	買物公園開設協議会
	28	技能尊重推進協議会総会
	〃	勤労者財産形成協議会懇談会
	〃	市労協役員会
講習・催物	17	会社と社長の資産運用と税金対策
	19	第37回簿記検定試験（大谷高校）
	20〜21	青色教室
	26	第16回計算尺道南地区予選大会（別館）
相談・診断		金融23　税務48　経理62　経営15　労務106
		取引27　その他12　計293
文書		発信28　受信112
貸室		本館62　別館7
慶弔その他	1	海上自衛隊創立22周年記念式典、同祝宴
	〃2	函館菓子問屋組合永年勤続表彰
	〃	ソ連東洋共同海運（株）ポリヤーノフ副社長との懇談会（札幌）
	3	函館市文化賞贈呈式（市民会館）
	4	亀田ロータリー認証書伝達式（国際ホテル）
	6〜5	第20回函館市身体障害者福祉大会（湯川）
	〃10	陸上自衛隊創立22周年記念式典
	10	納税者の声を聞く会
	10	税関100年座談会
	13	亀田市店舗コンクール
	14	ばんだい号遭難者慰霊碑を建てる会総会
	16	木労協従業員表彰式（市民会館）
	〃17	納税功労者表彰式（市民会館）
	17	前市助役前田忠作氏告別式（東別院）
	18	成人会慰安大会
	19	ダリイントル子副所長送別夕食会（空港ビル）
	〃	トーヨーレー落成披露
	21	五所川原木試食会（婦人センター）
	22	警察職員水平勤続者表彰式（道警本部）
	〃	ジャンボ・ボウリング開設披露
	25	簡易保険加入者大沼保養センター落成披露
	〃	道立函館専修職業訓練修了式
	27	伊達会議所前会頭胸像除幕式（伊達町）
	28	税関100周年記念式典（税関）

企業を育て
地域を伸ばす
商工会議所

函館商工会議所ニュース

発行所
函館市若松町15番7—61号
電話代表(0138)23—1181
函館商工会議所
編集発行人　八鍬末吉

飛躍の年にふさわしく

昨年十二月開かれた正副会頭、部会長、委員長合同懇談会で本会議所昭和四十八年度事業計画の重点目標十一項目が明らかにされます。これによると「一年度完成予定となっている本所運営基盤の確立」をはじめ前年度からの継続事業も二、三にとどまるほかは目新しいものとしてはNHKテレビ小説「北の家族」放映を機に観光PRの推進、小規模企業振興推進委員の設置、年金保養センターの誘致、亀田市などとの合併促進などのほか飛躍の年にふさわしい新規事業もあり注目される。

48年度事業重点目標

①本所運営基盤の確立
財政基盤の確立はかぶ議所活動の活発化を図る。
②商業近代化地域計画の設置、年金保養センターの誘致、亀田市などとの合併促進
③商業活動調整協議会運用委員会の設置
④中小企業振興推進委員会の設置
⑤公害保養基地ならびに大学の誘致
年金保養基地の函館湾誘致については、昨年十一月開かれた常議員会で会頭から報告があり、現在、空路線の開設促進と航空機によるハバロフスク経済視察

保養基地を地域ぐるみで
中小企業振興対策の強化
「北の家族」で観光PR推進

48年重点目標

昨年度実施した立入検査の結果を報告のあと懇談に入った。業界からは「法律に基づく建設など環境整備をいかに推進するかが当面の課題となっている。

合併促進委員会

本所商業協同組合合併促進特別委員会は一月二十六日正午から開催、成田委員長、勝木、棟方、上谷、佐藤（亨）、加藤（進）、山内、大各委員。

輸入許可要望

原料確保に

昨年十二月、日本商工会議所で開かれた全国商工会議所農水産部会長会議には水産庁幹部が加わり水産業界の意見交換が行なわれた。本所からは中会頭、森田農水産部会長出席、函館の水産業界が当面する問題として次の事を提案、要望した。

①いかの禁漁期は四十八年からは三月・四月のニカ月間と決定したが、これに五月を加え三カ月間とし資源確保を図られたい。

②近年水産加工面の需要増大から国内生産のみでは賄いきれない状態にあり、さらに原料価格の高騰によって原料確保と加工採算が悪化、水産業界は危機に直面しているので水産物の輸入を許可されたい。

（指導部）

機械の特別償却

中小企業者の機械の特別償却について。

個別事業者で昭和四十七年四月一日から十二月三十一日までの間に、取得価格が五〇万円以上の機械装置・製作後事業に使用されたものにかぎります。

（指導部）

公害対策検討

（農水産部会）

本所農水産部会は一月二十四日開催、公害問題とその対策について熱心に討議した。当日は渡島庁と市からそれぞれ担当官が出席し渡島支庁の公害係から水質汚濁防止法施行に伴って的に意義深い大型行事を万全の準備期間をおいて早めに立案したいとしている。

先進空港を視察

函館空港整備の参考に

昨年度実施した立入検査の結果を報告のあと懇談に入った。業界からは「法律に基づく建設など環境整備をいかに推進するかが当面の課題となっている。

合併促進委員会

本所商業協同組合合併促進特別委員会は一月二十六日正午から開催、成田委員長から現在進行中の合併の実現に向けて、今後の合併の進展について活発な意見交換が行なわれた。

本所からは中会頭、森田農水産部会長出席、函館の水産業界が当面する問題として次の事を提案、要望した。

①いかの禁漁期は四十八年からは三月・四月のニカ月間と決定したが、これに五月を加え三カ月間とし資源確保を図られたい。

②近年水産加工面の需要増大から国内生産のみでは賄いきれない状態にあり、さらに原料価格の高騰によって原料確保と加工採算が悪化、水産業界は危機に直面しているので水産物の輸入を許可されたい。

（指導部）

機械の特別償却

中小企業者の機械の特別償却について。

個別事業者で昭和四十七年四月一日から十二月三十一日までの間に、取得価格が五〇万円以上の機械装置・製作後事業に使用されたものにかぎります。

（指導部）

北の家族協力会発足

二月三日、市役所、青函合会、全日空、空港ビル、本所に集まり、規約・事業案などを検討の結果、会長に田中会頭を選び「北の家族」協力会を設立した。協力会は「藍より青く」の終幕をうけて四月二日から放映される、NHKテレビ小説「北の家族」の函館ロケに地元として大いに協力し、また地域の美化運動、観光客誘致に役立とうとしている。ポスターの製作など観光客で「瀬子ひとり」の先例もあり観光ブームの到来を期待している。

私見

私は自分が「ハコダテっ子」であることを幸福に思い且つ誇りに思っている。

北海道の先進都市・函館の良さは、この地に生まれたものであれば誰でも体で知っている。第一に環境的にも山あり、海あり美しい自然は幸いにして今のところ他の大都市や産業都市並みの大公害もなく、これからも公害防止対策さえ確立すれば現在のまま住みよい環境は十分保持出来るのである。

しかし、昨年来、東京一函館間にジェット機が就航し、すっかりこなれた感じの久美さんが函館出身であったので私の要望を伝え、また、NHKの幹部にもお会いして、観光政策上のメリットは計り知れないものがある。これは歌謡曲その他の比ではない。

函館市にとって、これくらい有難いことはあるまい。「北の家族」のロケには地元として全力を挙げて協力し、その成功を祈りたい。

私はテレビ小説「北の家族」の放映開始を一日も早くと待ちあびみなが「北の家族」が四月二日放映しもうもうかと心を弾ませ、先年「五稜郭血書」の調立劇場上演「文学の年」として南下しつつ、遂にこの函館市の取組の塔下の洞窟内野戦病院で傷兵を得なかった。那覇市内での昼食、小休止後、

内容的にはなお難点
実施約一割に達す
週休二日制を全道調査

昨年、本会議所が函館・亀田両市の四百社を対象に調査した週休二日制の実施状況を九月号紙上で報道したが、休二日制の実施状況は道内の主要商工会議所（函館、室蘭、苫小牧、札幌、釧路、帯広、網走、旭川、帯広、釧路、北見）の調査結果をまとめ「道内における週休二日制実施」として特集出来ることになりました。

この度は道内の主要商工会議所へ週休二日制の実施状況についてアンケートを発送し、すでに多くの会員から寄せられたものを集計したものであります。

これによると回答を寄せた企業千八百六十二社のうち、すでに週休二日制を実施している企業は千八百六十社（一一・一％）であり、これを業種別にみると、金融・保険・不動産業の実施企業は五二・二％で卸売業の一四・七％、以下、伊達市の一三・七％、室蘭市二〇・七％の順で残る七市はいずれも一桁台であることが明らかになった。

次に、業種別にみると、金融・保険・不動産業の実施企業は五二・二％卸売業の一四・七％、以下、伊達市の一三・七％、室蘭市二〇・七％の順で残る七市はいずれも一桁台であることが明らかになった。

次に、業種別にみると、金融・保険・不動産業の実施企業は五二・二％卸売業の一四・七％、以下、伊達市の一三・七％、室蘭市二〇・七％の順で残る七市はいずれも一桁台であることが明らかになった。

ケタの高い実施比率をみせ、五百人以下の企業とは二倍以上の大きな開きをみせている。

（実施予定）実施を検討している企業の三〇・一％にのぼっている。その予定時期はほぼ「五十年末までに」と答えており、九・六％にとどまっており、内容の点で週休二日制の時代はまだまだ先のことといえる。

（経営者の意識）経営者は「期待すべき効果は「勤労意欲の向上」が圧倒的に多く、続いて「従業員の定着」「生産・販売効率の向上」の順である。

また、実施上の障害としては「対顧客・得意先サービスの低下」「従業員の増員」などを懸念している。

しかし、実施するための条件として「週休二日制が一般化したとき」を挙げる受け身型が一番多いうえ、「完全週休二日制」七・五％、「隔週週休二日制」わずか四％と、実施を検討していた企業も完全週休二日制は一％にとどまっており「週休二日制は中止した」が一〇％、「解雇が出た」はわずか〇・六％と、「週休二日制は出先企業が中心であり、二日制は地元企業に急速に増え、しかもその普及度は知恵的に広まっている」ことが明らかになった。

（実施状況）実施業は九州・函館市二〇・七％の順で残る七市はいずれも一桁台であることが明らかになった。

次に、業種別にみると、金融・保険・不動産業の実施企業は五二・二％卸売業の一四・七％、以下、伊達市の一三・七％、室蘭市二〇・七％の順で残る七市はいずれも一桁台であることが明らかになった。

次に、業種別にみると、金融・保険・不動産業の実施企業は五二・二％卸売業の一四・七％、以下、伊達市の一三・七％、室蘭市二〇・七％の順で残る七市はいずれも一桁台であることが明らかになった。

（実施状況）実施業は九州・函館